

令和8年7月21日
農林水産大臣 鈴木 憲和 様

米の安定的な生産と消費に関する支援強化を強く求めます

昨今の「令和の米騒動」とも呼ばれる事態は、私たちの食卓に欠かせない米の不足を招き、価格の急激な上昇をもたらしました。家計の負担が増えるなかで、消費者の間からは「お米が高くて思うように買えない」という切実な声が上がりました。米は私たちの主食であり、その安定した供給と、誰もが安心して手に取ることができる価格を守ることは、暮らしの安心を支えるために、日本の食文化を次世代へと引き継ぎ、国が果たすべき大切な役割ではないでしょうか。

一方、米をつくる現場に目を向ければ、資材や燃料の値上がり、近年の厳しい暑さによる品質への影響など、生産者はかつてない困難に直面しています。このままでは、米づくりを諦める生産者が増えてしまうのではないかと深く憂慮しています。食料自給率が大きく低下した日本において、米の生産を支えることは、外交や防衛と同じように、国民の命と暮らしを守る食料安全保障上の最優先課題です。

これからの時代、生産者が安心して米を作り続け、私たち消費者がその米を利用し続けていくためには、市場の動きに任せるだけでなく、国による強力な支えが重要だと考えます。生産者が必要とする収入と、消費者が無理なく利用できる価格の間に生じる差額を、国が財政的な支援によって補い、両者を橋渡ししていくような抜本的な対策が必要です。あわせて、不測の事態に備えて米の生産を促し、蓄えた米を支援が必要な方々へ活用するなど、社会全体で米を大切に育むための仕組みづくりを速やかに実現してほしいと願っています。

未来を担う新しい作り手や後継者が希望を持って米作りに励めるよう、また、将来にわたって日本の豊かな水田環境が守られるよう、長期的で継続的な支援の輪を広げていくことを心から願い、ここに決議します。

2026年6月18日
第47回生活協同組合共立社総代会